

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2848	グランフォレストしずおか葵の森	株式会社フィルケア	H29.2.6
評価機関	特非営利活動法人 福祉経営ネットワーク		H29.2.22

### 評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	B	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	C	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	B	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	B	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	B
1.4.7	B	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	B	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	B	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	C	B	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	B	B	4.2.1	B	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	B	B	5.1.1	C	C	7.5.4	B	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	B	7.5.5	A	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	B	7.5.6	B	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	C	C	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	C	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	B	A	6.1.3	B	A			

**【評価機関の所見】**

**1. 優れた取り組みと思われる点**

スケール	所見
2-4-3	事故につながる可能性のあるヒヤリハット報告について職員の提案を促す取り組みを行っている。上期の提出状況から、記入数の少ない職員に指導・声かけを行い、さらに、タイムカードの横に記入用紙を用意して退勤時に記入できるよう工夫している。また、休憩室のホワイトボードに月間目標を掲示し、職員の意識の向上を図っている。これらの取り組み結果で報告件数が増加しており、今後も取り組みを継続して報告件数の増加を目指している。
2-4-4	感染症予防マニュアルを整備するとともに、ホーム内掲示物等で入居者・職員に注意を呼びかけている。感染症に関する情報は、内科医師が毎週来所しており、その際に感染症の発生状況に関する情報を収集している。また、行政からもファックスやメールで情報を得ており、これらの情報を職員間で共有し、感染症の発生状況を確認するなどして、予防に努めている。
4-2-2	日々のレクリエーションや行事は毎月行事予定表を作成し、入居者に配布するとともに見やすいように拡大掲示も行い、周知している。レクリエーションは脳トレやゲーム、体操など毎日休みなく計画する他、クラシックコンサートや焼き芋レクなど季節ごとの行事を取り入れ、生活に潤いや楽しみをもたらしている。それらは担当職員により企画書とともに実施報告書を作成し、総括・感想等を次回に反映すべく取り組んでいる。
6-2-8	毎月広報紙「あおい通信」を発行しており、入居者の写真を多く取り入れる他、さまざまな記事を掲載して、すべての家族等のもとに届けている。加えて、食事献立表や行事予定表、ホームからのお知らせなどの他、居室担当職員から自立者を除いて入居者の様子を記したメッセージも一緒に送付している。さらに、毎年恒例の夏祭りには家族等の参加を呼びかけるはがきを送っており、家族等のホーム訪問の機会確保に寄与している。

**2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点**

スケール	所見
2-2-11	入居契約書に契約終了時は、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」に則り、トラブルの未然防止に努めると明示している。しかし、ホームでの具体的な取扱規程等が用意されていない。ホームで退去時の原状回復について対応することがないためとしているが、契約時に入居者からガイドラインの説明を求められ場合など、職員が説明できるようにすることおよび職員が理解を深めるため、明文化された内規等の整備が求められる。
2-4-1	入居者や家族からの金品を受け取らないこととしており、入社時研修で周知を図っている。しかしながら、授受を辞退することで入居者との関係に影響が出るケースもあり、やむを得ず受領する場合、ホーム長に報告することとしている。具体的な取り扱いを明示したマニュアルが用意されていないため、受け取った際の入居者へのお礼や今後気遣いをしない旨伝える等の対応を明文化し、加えて職員研修等でモラルの向上に努められたい。
5-2-4	入居者の食事は給食会社に委託しており、2カ所のホームを担当する給食会社の管理栄養士の配置はあるもののケース会議への参加はない。入居者の高齢化とともにさまざまなリスクが生じてくることと思われ、管理栄養士が必要に応じてケース会議へ参加することが望ましい。多職種と協働して個別の栄養管理に関わるなど、管理栄養士だからこそ可能となる入居者支援に期待したい。
7-5-5	機能訓練加算は受けていないが、非常勤の理学療法士を週2日配置しリハビリを希望する入居者や家族からの要望などに応じて機能訓練を実施している。実施に際しては、リハビリテーション評価用紙等に記録を記しているが、今後は入居者の状態にそった集約的な個々の機能訓練計画書を作成し評価を行い、必要に応じたリハビリを実施するなど、さらに専門職の配置を有効に活用することが望まれる。